

不正入試問題とその背景



2019年11月18日
読売新聞社会部 田中浩司
koji0369@yomiuri.com

個人的な経歴



2005年4月～ 佐賀新聞入社
2013年1月～ 読売新聞西部本社に入社
社会部で警察や裁判を担当
2018年4月～ 読売新聞東京本社に出向
社会部遊軍（調査報道）

▽不正入試問題は検察、教育、医療、調査報道
の担当記者で連携しながらチームで取材



東京医科大の不正入試



- 取材のきっかけは、文部科学省の私大支援事業を巡る汚職事件
- 東京医科大の関係者を取材

関係者の証言



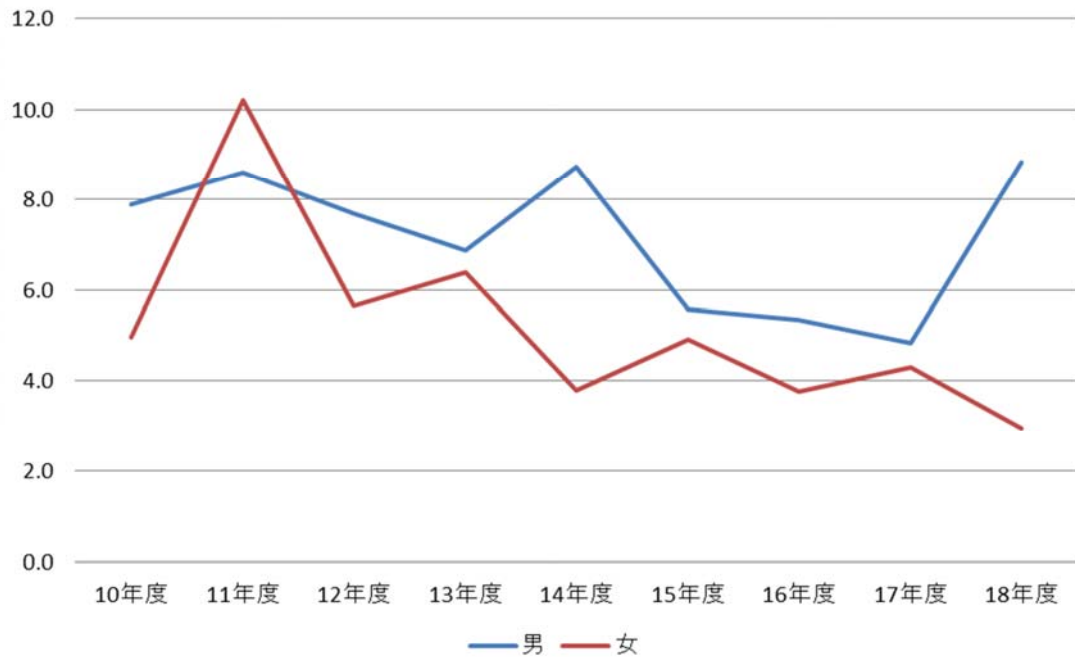
- 「個別の得点操作とは別の問題がある」
- 「男女の点数に係数を掛け、男子を受かりやすくしていた」

裏付け取材



- 複数の関係者から裏取り
- 10年分のデータ「東京医科大入学者選抜状況」を分析

1次・2次トータルの合格率(%)



資料1

THE YOMIURI SHIMBUN 読売新聞 2019年7月20日(土) 8,254部

女子受験者を一律減点

東京医大、恣意的操作

入試要項 説明なし

東京医科大学の医学部入試で、女子受験者を一律減点する操作が行われたことが、読売新聞の取材で明らかになった。入試要項に説明がなされていないにもかかわらず、女子受験者は男子受験者よりも減点されていた。この操作は、入試要項に明記されていないにもかかわらず、女子受験者を不利にするものであり、恣意的な操作と見られる。読売新聞は、この操作について、東京医科大学の入試担当者に問い合わせたが、説明がなかったという。

長期金利上昇 日銀政策修正で

2年ぶり高水準

長期金利が2年ぶりの高水準に上昇した。日銀は、この上昇を受けて、政策修正を行うと見られる。長期金利の上昇は、日銀の政策修正を示唆しており、市場関係者は注目を集めている。読売新聞は、この動きについて、日銀の政策決定過程を追跡している。

広島土砂 14年の8倍

推計 崩壊 西日本豪雨で流出

広島県で発生した土砂崩壊の被害が、14年と比較して8倍に達したと推計されている。これは、西日本の豪雨による流出が原因と見られる。読売新聞は、この被害の規模について、広島県庁と関係機関のデータを基に推計している。

東北の夏 3ヵ月連続

東北の夏 3ヵ月連続

東北地方で3ヵ月連続で高温が続いている。読売新聞は、この高温が続くことで、東北地方の夏の気候がどうなるかを追跡している。

第1号は織田幹雄

第1号は織田幹雄

第1号の選手は織田幹雄である。読売新聞は、この選手について、その経歴や成績を追跡している。

手作り雑貨

手作り雑貨

手作り雑貨の需要が高まっている。読売新聞は、この需要の高まりについて、市場関係者の話を追跡している。

植物 散智 寺人

植物 散智 寺人

植物の散智寺人が話題になっている。読売新聞は、この散智寺人について、その経歴や作品を追跡している。

私の高校野球

私の高校野球

私の高校野球の話題が沸いている。読売新聞は、この話題について、関係者の話を追跡している。

世界一受けたい授業

世界一受けたい授業

世界一受けたい授業の話題が沸いている。読売新聞は、この話題について、関係者の話を追跡している。

文豪の凄じい語彙力

文豪の凄じい語彙力

文豪の凄じい語彙力の話題が沸いている。読売新聞は、この話題について、関係者の話を追跡している。

世界一高価な切手の物語

世界一高価な切手の物語

世界一高価な切手の物語が話題になっている。読売新聞は、この物語について、関係者の話を追跡している。

- [illegible]

東京医科大の記者会見



- 女子と浪人生を差別する得点操作は遅くとも2006年から
- 女子差別「結婚・出産で長時間勤務ができない」
- 浪人生差別「浪人を重ねると成績が伸びない」
- 17、18年入試の1次試験で裏口入学の依頼があった21人の得点に加点

資料2



女子差別の背景



- 女性医師は結婚や出産で離職、休職の可能性
- 系列病院の医師不足を懸念
- 医学部は「入試＝採用試験」という特殊性

3 14 2018年7月24日 8月5日 (水曜日) 東京 30℃ 曇り 西風

医学界 女性是不利

入試減点
報告書 差別指弾
環境整わず 高い離職率

「女性医師の現状」に関する調査報告書が、医学界に衝撃を与えている。報告書は、女性医師の結婚や出産による離職、休職の増加、そして系列病院の医師不足を懸念している。また、医学部の入試が「採用試験」として機能しているという特殊性も指摘されている。

入試減点
医学部の入試に、女性医師の結婚や出産による離職、休職の増加、そして系列病院の医師不足を懸念している。また、医学部の入試が「採用試験」として機能しているという特殊性も指摘されている。

報告書 差別指弾
「女性医師の現状」に関する調査報告書が、医学界に衝撃を与えている。報告書は、女性医師の結婚や出産による離職、休職の増加、そして系列病院の医師不足を懸念している。また、医学部の入試が「採用試験」として機能しているという特殊性も指摘されている。

環境整わず 高い離職率
「女性医師の現状」に関する調査報告書が、医学界に衝撃を与えている。報告書は、女性医師の結婚や出産による離職、休職の増加、そして系列病院の医師不足を懸念している。また、医学部の入試が「採用試験」として機能しているという特殊性も指摘されている。

時代の流れに逆行
「女性医師の現状」に関する調査報告書が、医学界に衝撃を与えている。報告書は、女性医師の結婚や出産による離職、休職の増加、そして系列病院の医師不足を懸念している。また、医学部の入試が「採用試験」として機能しているという特殊性も指摘されている。

第155回 直木賞候補作 ついに文庫化!
母と娘、姉と妹、友だち、男と女。日常に集く、それぞれの思いのかけ違い――、落かなえのエッセンスがみなぎる極上の短編集!

WOWOWで連続ドラマ化決定!
光文社文庫

湊かなえ
あなたの「正しさ」を憎みます。
「私はお母さんの救済者だ!」
名作が人々の心を震えさせています!
新しい「落かなえ」が描く新時代ミステリー
「ツイエーション」「ベリタス」「罪と罰」
「赤い心」「黒い心」「赤い心」
「赤い心」「黒い心」「赤い心」

ポイズン ドクター!
ホリーマザー



文科省調査と他大学



- 読売新聞が独自に全国の医学部を調査。77%の大学で男女の合格率に差
- 文科省調査でも 8 割の大学に差

東京医科大で新たな動き



- 初の女性学長
- 理事や評議員が一斉辞任
- 不正入試で不合格になった受験生に意向確認し、追加合格へ

文科省の調査結果



- 10大学で不適切または不適切な疑い
- 女子差別は3大学。聖マリアンナ大は疑いを否定



資料3

パンドラの箱



- 予備校関係者の間で、女子・浪人差別は以前からうわさ
- これまで表面化せず
- 女子差別を認めたのは3大学。
「冰山の一角」との見方も

根深い男子偏重



- 指摘を受けた大学の教授ら
「差別意識なし」「正しい判断」
- 世間の常識と乖離

過酷な労働現場



- 医学界には容認論も。医師の65%が「差別」を容認
- 差別をなくすには、医師の働き方改革、社会の意識改革が不可欠

東京医科大の最終報告



- 国会議員が入試で口利き
- 6年間で計178人（男子57人、女子121人）が得点操作で不合格に

志願者激減



- 東京医科大の志願者数が3分の1に
- 他大学の状況と合わせて報道

追加入学で救済



- 東京医科大に24人が追加入学
- 不正、不適切な入試判明の8大学で計43人が追加入学

今年の入試



- 東京医科大は男女の合格率がほぼ同じに
- 女子差別指摘の4大学は、いずれも女子の合格率が男子を上回る



資料4

おわりに



女性医師の働き方を含め、
医学界全体がどう変わるの
か、これからも継続して取
材していきたい